

セーフコミュニティ セーフコミュニティって何？

- 事故・けがは偶然の結果ではなく、予防できるという理念のもと、京都府と市町村といった行政はもちろん、地域住民、NPO、関係民間団体など、多くの主体の協働により、府民の全てが健やかで元気に暮らすことができるまちづくりを進めます。
- これはスウェーデンの地方都市で始まった住民の手で安心・安全な社会をつくらうという運動で、これが体系化されたものです。
- 「みんなが事故・犯罪・怪我なく、安心して暮らしていくにはどうすべきか。」を地域住民が考え、力を合わせてその原因を取り除いていこうとするものです。

今世界で注目されており、WHOの取組として進められています。

- 日本では昔から取り組まれてきたことで、地域の人達が助け合い、協力を積み重ねて、より健康で安心して暮らすためのもので、ちょっと工夫を加えるだけです。
1. **地域の実情を科学の目でチェック(事故や怪我のデータを把握・分析・評価)**
 2. **既存の様々な取組を1つに結集。そしてみんなで進めましょう！**
- 地域のつながりが希薄化し、地域の力が衰退しつつあるところも多く、こうした取組を通じて、人と人とのつながりや地域の力を再生し、府民の皆さんとの協働により、安心・安全な地域づくりを進めます。

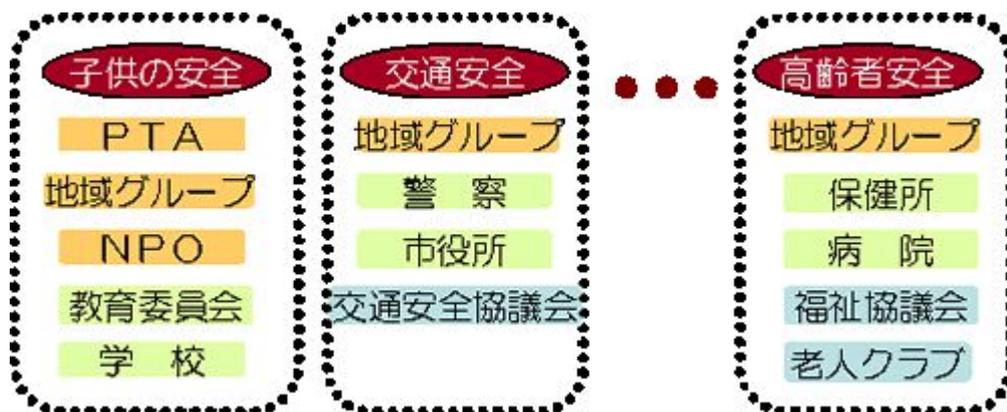
地域の実情を科学の目でチェック

様々なデータや記録から、地域での事故やけがが「いつ」「どこで」「どのように」発生したのかを調べ、その原因を究明し、それを取り除きま

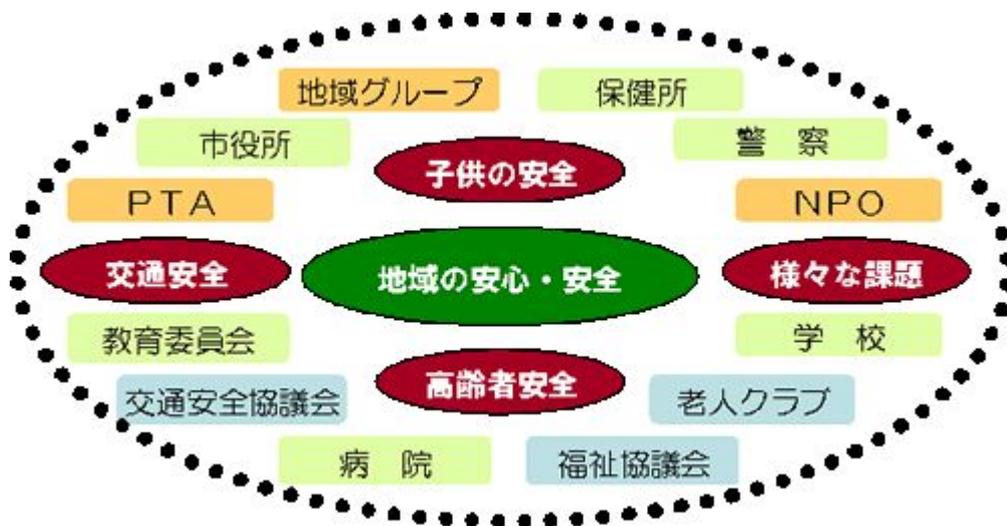
す。

既存の様々な取組を1つの目的に向かって結集

現在、多様な主体によって地域の安心・安全に関する取組が進められていますが、下図のように連携せずに進められているのが実態ではないでしょうか。



セーフコミュニティでは、各取組を**横断的に連携**させて、地域の安心・安全という共通の目標に向かって取り組みを進めます。



メニュー

- [セーフコミュニティ](#)
- [セーフコミュニティシンポジウム](#)

セーフコミュニティ どうやって進めるの？

実現に向けての取組

1 持続可能な推進体制の構築

- 取組を推進するための組織・部門横断的な組織を立ち上げます。
- 住民、行政、企業などあらゆる分野、部門の人達が地域の課題解決に対して何ができるかを考え、「健康で安心して暮らせるまちづくり」を共通の目標に向けて、協力しあって不安材料を除去していきます。

推進体制構築のポイント

- ・市町村の首長のリーダーシップ
- ・地域住民の参画と協働
- ・既存の地域活動グループの参画と連携
- ・実行組織への市町村や国、府の地方機関、警察、大学、医療機関、地域住民、NPOなどの参画

- 新たな実施主体をつくるのではなく、今の実施主体が横断的に連携し、住民との協働により更なる推進を図るものです。

2 地域課題の抽出

- 利用可能なデータを使って地域を診断します。
- 死亡統計や交通事故統計など様々なデータを活用し、地域の課題を抽出します。
- 要因、場所、年齢別、経年変化などを分析することにより、予防方法を検討します。

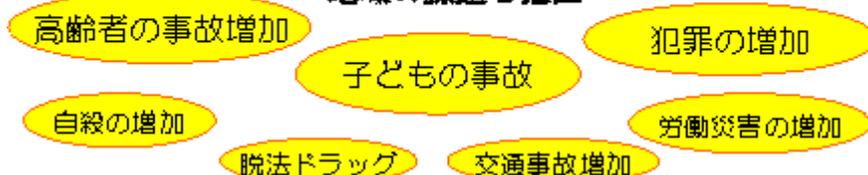
地域課題の抽出

利用可能なデータを使って地域を診断

- ・ 保健福祉統計年報
- ・ 外傷受診率
- ・ 交通事故統計
- ・ 学校傷害保険データベース
- ・ 救急出動記録 など

要因、場所、年齢別、経年変化など

地域の課題を抽出



3 地域課題及びその分析結果からプログラムを作成・実施

- ・ 実施に当たっては既存の取組や制度を活用し、そして効果を検証しながら、対応策を見直していき、安心に暮らせるまちづくりを推進します。

